令和５年７月１２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－２

令和４年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【ＮＰＯ法人 明日の稲津を築く まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	６事業
事業費総額（決算時）	１，６３３，１９１円
交付金決定額	１，２０８，０００円
（うち加算額）	（０円）
交付金決算額	１，２０８，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ２０
・事後評価調書　Ｐ２１～Ｐ２６
・参考写真
（令和４年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２７～Ｐ２８

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和５年４月７日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市稲津町小里６９７番地の１
名称：特定非営利活動法人
明日の稲津を築くまちづくり推進協議会
代表者氏名：理事長　勝股　清治

夢づくり地域交付金実績報告書

令和４年４月２７日付瑞浪市指令第５４号の３で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
まちづくり推進事業
文化・芸術・スポーツ推進事業
環境保全事業
社会福祉推進事業
青少年健全育成事業
まちづくり情報発信事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
~~５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）~~
~~６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）~~

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり推進事業

２　活動報告（活動内容等）

羽広橋近くの休耕田2,000㎡を借用し、ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、カボチャを栽培する町民のふれあい農園として整備をしました。
今年は、長寿会、まちづくり役員だけでなく、感染症対策を講じながら2年ぶりに幼稚園児や小学生の親子連れにも参加いただき、サツマイモ（紅はるか）の苗を1,200本植えました。その後、住民ボランティア、まちづくり役員が中心となって、水やり、草刈りを行いました。
収穫祭では、小さな子どもからお年寄りまで210名が参加し、自分たちで植えたサツマイモを袋一杯に収穫していました。また、まちづくり事務局によるパッククッキングのお土産も参加者が嬉しそうに持ち帰っていました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

子ども会や長寿会等幅広い年齢層の住民に参画していただくことができました。特に、子どもたちには、農園での栽培、収穫体験により、農作業の大変さ、収穫の楽しさを実感してもらうことができました。
また、収穫した野菜を福祉施設等に配布し、町民の方々へ広く事業をＰＲすることもできました。

苗植え　参加人数　210名　　収穫作業　参加人数　210名

４　事業に要した経費（総事業費）

157,585 円

５　夢づくり地域交付金充当額

74,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月		農園耕作・管理（通年）		
５月	いいなっつ農園　苗植え		消耗品費 食料費	81,506 14,261
６月			光熱水費 消耗品費 報償費	3,432 11,708 3,200
７月				
８月				
９月			食料費	2,566
１０月	いいなっつ農園　収穫作業		食料費 消耗品費	16,998 714
１１月			報償費 消耗品費	3,700 10,500
１２月				
１月				
２月			消耗品費	9,000
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	74,000	74,000	
自主財源	86,000	83,585	
その他（　　）			
合　　計	160,000	157,585	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
苗等購入費	いいなっつ農園苗植え 苗、種芋、肥料等の購入	消耗品費	50,000	77,256	
		食料費	20,000	14,261	
		光熱水費		3,432	
		小計	70,000	94,949	
耕地耕作経費	いいなっつ農園収穫祭	消耗品費	40,000	36,172	
		食料費	20,000	19,564	
		光熱水費	10,000		
		賄材料費	10,000		
		通信費等	10,000		
		報償費		6,900	
		小計	90,000	62,636	
合　　計			160,000	157,585	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

文化・芸術・スポーツ推進事業

２　活動報告（活動内容等）

ふれあい映画館は、昨年に引き続き新型コロナウイルス対策として午前午後2回公演（各回定員50名）の縮小開催としました。例年ご協力いただく中学生ボランティアの参加は断念しましたが、来場者58名に映画を楽しんでいただけました。
夏まつりは、会場での密集・密接を避けるため出店等を中止とし、『新型コロナ撲滅祈願』と題した打ち上げ花火のみ実施しました。
ふれあい大運動会については、1000名以上が集まってふれあう事業となるため、中止しました。
まちづくり年末イベントは、障がいのある方たちのハンドベルコンサートを開催しました。とても器用にハンドベルを操り、素敵なメロディーに心が洗われるようでした。
今年14回目となるいなつフォークビレッジは、定員50名の2回公演は満員で、来場者は手拍子したり、足でリズムを刻んだりしながら楽しんでいました。
同じく例年大盛況で開催しているうえるかむすぷりんぐコンサートは、1部は素敵な歌声に酔いしれ、２部は時事ネタを取り入れた笑いと感動が溢れるコメディに会場全体が盛り上がりました。
また、新規事業として2回開催したインスタグラムフォトコンテストでは、沢山の写真の投稿があり、稲津の魅力を再発見できる良い機会となりました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・R4.5.27	ふれあい映画館	来場者数58名
・　7.30	町民夏まつり	打ち上げ花火のみ実施
・　9.25	町民ふれあい大運動会	中止
・　12.10	クリスマスコンサート	90名
・R5.2.5	いなつフォークvillage	100名
・　3.18	うえるかむすぷりんぐコンサート	80名
・フォトコンテスト　第１弾		55作品
・フォトコンテスト　第２弾		34作品

４　事業に要した経費（総事業費）

832,825 円

５　夢づくり地域交付金充当額

704,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	稲津ふれあい映画館	消耗品費	22,287
		食料費	8,640
		使用料等	154,880
６月		消耗品費	18,515
７月、8月	祈願打ち上げ花火（町民夏まつり中止）	通信費等	11,820
		食料費	126,272
		消耗品費	58,516
		印刷費	11,094
		光熱水費	3,476
９月	町民ふれあい大運動会（中止）		
１０月			
１１月			
１２月	まちづくり年末イベント （クリスマスコンサート）	報償費	40,000
		消耗品費	77,143
		食料費	2,593
		委託料	20,000
		使用料等	1,556
１月			
２月	いなつフォークVillage	消耗品費	34,927
		使用料等	30,000
３月	うえるかむすぷりんぐコンサート	委託料	10,000
		報償費	150,000
		使用料等	2,172
		食料費	16,870
		消耗品費	18,744
５～２月	フォトコンテスト	消耗品費	1,760
		通信費等	3,560
		報償費	8,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	704,000	704,000	
自主財源	876,000	128,825	
合　　計	1,580,000	832,825	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
文化事業経費	稲津ふれあい映画館	消耗品費	20,000	22,287	
		食料費	40,000	8,640	
		使用料等	200,000	154,880	
		小計	260,000	185,807	
	町民夏まつり	報償費	80,000		
		消耗品費	70,000	77,031	
		食料費	150,000	126,272	
		印刷費	60,000	11,094	
		光熱水費	3,000	3,476	
		通信費等	20,000	11,820	
		委託料	50,000		
		使用料等	27,000		
		その他	50,000		夢交付金交付対象外
		小計	510,000	229,693	
	クリスマスコンサート	報償費	80,000	40,000	
		消耗品費	40,000	77,143	
		食料費	20,000	2,593	
		委託料	10,000	20,000	
		使用料等	0	1,556	音響・著作使用料
		その他	50,000		夢交付金交付対象外
		小計	200,000	141,292	

事項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
	いなつフォークvillag	報償費	5,000		
		消耗品費	35,000	34,927	
		食料費	5,000		
		使用料等	30,000	30,000	
		小計	75,000	64,927	
	うえるかむすぷりんぐコンサート	報償費	150,000	150,000	
		消耗品費	20,000	18,744	
		食料費	10,000	16,870	
		委託料	10,000	10,000	
		使用料等		2,172	
		小計	190,000	197,786	
	フォトコンテスト	消耗品費	15,000	1,760	
		通信費等		3,560	
		報償費		8,000	
		その他	5,000		
		小計	20,000	13,320	
スポーツ事業費	町民ふれあい大運動会	報償費	35,000		
		消耗品費	83,000		
		食料費	60,000		
		印刷費	37,000		
		光熱水費			
		通信費等	10,000		
		手数料等	10,000		
		委託料	20,000		
		その他	60,000		夢交付金交付対象外
		小計	315,000	0	
合計			1,570,000	832,825	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

環境保全事業

２　活動報告（活動内容等）

近年、市内だけでなく市外からも、屏風山や小里城を訪れる登山者が増加しています。ふるさと稲津の自然遺産を後世まで守り続けていくため、のぼり旗の設置や草刈り等の環境整備を行いました。
4月2日小里城跡祈願祭は25名が参加して執り行いました。
4月9日に開催した屏風山山開きは、まちづくり役員等16名で登山し、山頂では一般登山者を含む28名で祈願祭を行いました。
6月25日の屏風山登山と山の音楽会は、40名の参加者が集まりました。大草登山道から登頂し、黒の田湿地で間隔を空けて昼食をとったあと、いなつミュージックclubによる素晴らしい演奏を楽しみました。感染症と熱中症の両方に留意して実施をしました。
7月9日の小里城跡・水洗中学校線桜並木・止静庵・旧保育園跡整備事業は、区長
会、まちづくり地区推進委員等86名が参加し、一斉に草刈りを行い、美しいまちづくりに繋げました。
花いっぱい事業では、沢山のボランティアの協力により、町内各所にきれいな花を植えました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・年間延べ登山者（推定）　屏風山：約5,000人　小里城：約1,000人
・各種整備活動参加者　延べ約200人
・花植え作業参加者（年２回）　延べ115名　町内子供会等16団体

４　事業に要した経費（総事業費）

302,202 円

５　夢づくり地域交付金充当額

233,000 円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月	屏風山整備・山開き 小里城跡整備・祈願祭	花いっぱい事業　保全管理	消耗品費 報償費	4,145 10,000
５月	花いっぱい事業　春の花植え 屏風山登山と山の音楽会		光熱水費 消耗品費 食料費 報償費 使用料等	3,476 87,710 13,537 20,000 45,100
６月				
７月	小里城跡・水洗中学校線桜並木・ 止静庵・旧保育園跡		消耗品費 食料費	2,680 16,346
８月				
９月				
１０月				
１１月	花いっぱい事業　秋の花植え 黒の田湿地・登山道整備		消耗品費 食料費 報償費	77,629 3,909 3,000
１２月			消耗品費	5,170
１月				
２月			消耗品費	9,500
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	233,000	233,000	
自主財源	72,000	69,202	
その他（　　稲津町費助成金　　）			
合　　計	305,000	302,202	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
清掃整備経費	小里城、屏風山、 黒の田湿地環境整備	消耗品費	4,000	6,825	
		食料費	8,000	26,886	
		光熱水費	5,000	3,476	
		報償費		3,000	
		小計	17,000	40,187	
登山事業経費	屏風山登山と山の音楽会	報償費	20,000	30,000	
		消耗品費	6,000		
		食料費	7,000		
		使用料等	65,000	45,100	
		小計	98,000	75,100	
花いっぱい事業経費	花植え作業（春・秋）	消耗品費	180,000	180,009	
		食料費	10,000	6,906	
		小計	190,000	186,915	
合　　計			305,000	302,202	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

社会福祉推進事業

２　活動報告（活動内容等）

お年寄りのふれあい広場を開催し、まちづくり関連団体である社会福祉協議会が中心となり、稲津幼児園児と地元のお年寄りとの交流の場を提供しました。
長寿会・社会福祉協議会・民生委員などが、準備から行事進行に携わり、小さな子供たちと触れ合う中で、お年寄りたちも元気が貰える良い機会となりました。また、コロナ禍で交流の機会が一層減っている中、地域の絆が深まる貴重な機会となりました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

ふれあい広場　参加者　総勢119名

４　事業に要した経費（総事業費）

42,368　円

５　夢づくり地域交付金充当額

20,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月			
９月	お年寄りのふれあい広場	印刷費	42,368
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月			

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	20,000	20,000	
自主財源	10,000	22,368	
その他（　　）			
合　　計	30,000	42,368	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
お年寄りのふれあい広場	昔ながらの遊び、お遊戯など	印刷費	30,000	42,368	
合　　計			30,000	42,368	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青少年健全育成事業

２　活動報告（活動内容等）

市民会議及び町民会議の基本方針と実践目標をうけとめ、区民会議会長（区長）・地区推進委員を核にして、教育・環境補導・地区推進の三部会の連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進に当たりました。
教育部会では、計6回のあいさつ運動と、学校をとおして青少年育成標語を募集し優秀作品について表彰を行いました。
環境補導部会では、青少年の健全育成を図るため、町内巡回を行い、青少年の実態を把握しました。また、環境調査を行い安全対策の徹底を図りました。
地区推進部会では、地域住民が協力して子どもの安全を守るため青パトを実施したり、地域行事や活動に積極的に参加しボランティア活動を進めるなど、地域活動に参画できる体制を構築しました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

あいさつ運動　年6回
青少年育成標語募集　優秀作品4点を公民館に掲示、町民会議にて表彰
環境調査　5月～7月
青パトの実施　隊員21名　4月～3月　計18回実施（内夜間パトロール11回）

４　事業に要した経費（総事業費）

67,375　円

５　夢づくり地域交付金充当額

40,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	青少年育成町民会議	消耗品費	875
７月	青少年育成標語募集		
８月			
９月		通信費等	20,300
１０月			
１１月	標語看板設置	委託料	35,200
１２月			
1月			
２月	青少年育成町民会議 標語表彰等	報償費	11,000
３月			
通年	あいさつ運動		

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	40,000	40,000	
自主財源	45,000	27,375	
その他（　　）			
合　　計	85,000	67,375	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
町民会議経費	町民会議 標語看板設置	報償費	10,000	11,000	
		消耗品費	10,000	875	
		委託料	35,000	35,200	
		小計	55,000	47,075	
あいさつ運動	あいさつ運動案内 たすき送付	通信費等	30,000	20,300	
		小計	30,000	20,300	
合　　計			85,000	67,375	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　活動報告（活動内容等）

まちづくりホームページは日に100件以上ののアクセスがあります。平成21年10月の開設以来14年目の令和4年度に通算閲覧者数49万5千人を達成しました。
ホームページのみならず、インターネットを使用しない町民へもまちづくり情報を伝えるため、『稲津まちづくり新聞』を年2回発行し全戸配布しました。
（まちづくり新聞　年2回発行　1,450部×2回）

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・ホームページアクセス件数　495,237 件　3月末現在
・まちづくり新聞6月1日号（白黒・カラー）
　1月1日号（両面カラー）
　各　1,450部　発行

４　事業に要した経費（総事業費）

230,836 円

５　夢づくり地域交付金充当額

137,000 円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月		ホームページ更新（通年）		
５・６月	まちづくり新聞発行		印刷費 委託料	49,996 63,800
７月	ウェブ使用料		使用料等	56,540
８月				
９月				
１０月				
１１月				
１２・１月	まちづくり新聞発行		印刷費 委託料	35,200 25,300
２月				
３月				

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	137,000	137,000	
自主財源	93,000	93,836	
その他（　　）			
合　　計	230,000	230,836	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
まちづくり 新聞発行経費	まちづくり新聞 編集・印刷	印刷費	120,000	85,196	
		委託料	50,000	89,100	
		小計	170,000	174,296	
ホームページ配信経費	ウェブ使用料	使用料等	60,000	56,540	
		小計	60,000	56,540	
合　　計			230,000	230,836	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　1

事業名　まちづくり推進　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	いいなっつ農園苗植え　参加予定人数　約100名 いいなっつ農園収穫祭　参加予定人数　約100名	5
		実績値	いいなっつ農園苗植え　参加人数　210名 いいなっつ農園収穫祭　参加人数　210名 小里城跡御城印　販売部数　約500部	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	休耕田が増加するなか、まちづくり協議会が中心となりボランティアの参加を呼び掛けていくなかで、活用方法を模索する。まちづくりに参画するボランティアの募集と今後の管理が課題である。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	親子・長寿会等三世代が参画できる事業です。3年ぶりに一般参加者も募集した苗植えと収穫祭には、小さい子からお年寄りまで大勢の参加者が思い思いに楽しむ姿が見られました。収穫した野菜は、公民館の行事で利用したり、町内の介護施設等にも配布し、大変喜ばれました。 今年も多くの方にボランティアで整備にご協力いただき、農園の環境が保たれています。 また、御城印は、今年度も引き続き売れ行きがあり、多くの方に『小里城跡』に親しんでいただくような機会を作ることができました。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区
事業番号　2
事業名　文化・芸術・スポーツ推進　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	各種文化芸術スポーツ事業を通して、様々な世代の人がまちづくり事業に参加できる。また、町内の各種団体が共催し、事業の計画から運営実施に至るまで地域住民同士が協力することにより、交流の輪が広がり、町の活性化に繋がる。コンサートイベントについては、町外からの参加者も多く交流人口の増加にも繋がる。 合計参加者（見込み）　ふれあい映画館　100名、夏まつり　1，500名 町民運動会　1，200名、まちづくり年末イベント　100名 フォークビレッジ　100名、すぷりんぐコンサート　100名	2
		実績値	ふれあい映画館　58名、夏まつり　打ち上げ花火のみ 町民運動会　中止、まちづくり年末イベント　90名 フォークビレッジ　100名、すぷりんぐコンサート　80名、フォトコンテスト　89件	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	近年、日常的に交流が少なくなりつつある地域住民同士の親睦とまちの活性化、さらには住民の健康増進を図る必要がある。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	今年度も、実施予定で計画してきた大きなイベントがやむを得ず中止・変更開催を余儀なくされました。実施できたイベントは、定員を設けるなど、全て規模を縮小しての開催となりましたが、参加した方々からの沢山の喜びの声がありました。また、新規事業のフォトコンテストでは、応募写真から新たな稲津の魅力を再発見できました。 今年度実施できなかった事業も例年大盛況で、多くの方に開催を楽しみにしていただいています。また、町内の中学生、高校生のボランティアの参加もあり、地域の連帯感が深まる良い機会でもあります。来年度は、コロナ禍以前の通常開催を目指して、安心して参加していただけるよう工夫しながら、イベントを計画していきます。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	3
事業名	環境保全　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	屏風山を含めた里山や小里城を訪れる人に対して「稲津は自然と歴史文化のまち」であることをアピールする。黒の田湿地の木道及び周辺が整備され、環境も良くなり、交流人口等の増加が期待できる。町内各種団体が参画し、町内の所々に春と秋の年2回花植え作業を行う。 ・年間延べ登山者推定:屏風山　約5，000人　小里城　約1，000人 ・各種整備活動参加者(延べ200名を想定) ・花植え作業従事者　約100名	3
		実績値	・年間延べ登山者推定:屏風山　約5，000人　小里城　約1，000人 ・各種整備活動参加者　延べ約200名 ・花植え作業従事者　延べ約115名・16団体	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	屏風山や小里城へ市内外から訪れる登山者が近年増加しているため、稲津の自然遺産を後世まで守り続けていく。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	黒の田湿地や林道の整備を行い、安全面の確保と保全に努めました。テレビ放映もあって訪問者が増加しており、交流人口の更なる増加が期待されています。町民の環境保全に対する意識は高まっていますが、環境保護保全事業ボランティア等への参加は、特定の人に限られています。公民館便りやホームページを通じて募集をかけていますが、自然環境保全の必要性を更に広めていく必要があります。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　4

事業名　社会福祉　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	ふれあい広場(ゲーム大会、肩たたき、とんでけ ふれあい風船飛ばし) 関係団体等:社会福祉協議会、ひとり暮らし老人、幼児園、民生委員 参加人数　総勢　約350名	2
		実績値	ふれあい広場(輪投げ、玉入れ、お菓子釣り、スーパーボールすくい) 関係団体等:社会福祉協議会、長寿会、幼児園、民生委員、児童館 参加人数　総勢　119名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	認知症の増加や一人住まいの増加など、高齢者をとりまく問題は多様化しており、そうした状況において、地域のお年寄りが地域でいつまでも元気に暮らせるよう、各種団体または子どもたちと楽しくふれあえるような活動を目指す。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				20
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		幼児園児と地元のお年寄りとの交流の場を提供することで、世代を超えた絆が深まりました。長寿会、社会福祉協議会、民生委員等が準備から行事進行に携わり、小さな子どもたちと触れ合うなかで、お年寄りたちも元気をもらうことができました。今年度は、昔ながらのあそびや出し物等を通して、子ども、お年寄りにとって意義のある時間が提供できました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区
事業番号　5
事業名　青少年育成　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	あいさつ運動　7月～1月　全6回 街頭補導　7月 標語選出　12月 町民会議　6月・2月　年2回	3
		実績値	あいさつ運動　7月～1月　全6回 街頭補導　7月 標語選出　12月 町民会議　6月・2月 青少年育成表彰　2月	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	市民会議及び町民会議の基本方針と実践目標を受け止めて、区民会議会長(区長)・地区推進委員を核にして、三部会の連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進にあたる。定期的にあいさつ運動を実施し、子どもたちの安全を守る。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	教育・環境補導・地区推進部会の三部会が連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進に当たることができました。引き続き子どもたちを地域ぐるみで見守ることで、青少年の育成を図ります。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	6
事業名	まちづくり情報発信　事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり新聞　年2回（6月1日号、1月1日号） ホームページ開発（随時改良） ウェブ使用料	3
		実績値	まちづくり新聞　年2回（6月1日号、1月1日号） ホームページ随時改良 ウェブ使用料	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	まちづくりホームページの内容の充実を図り、まちづくり活動への参加・協力・理解が得られるよう市内外に広くPRする。デジタルのみならず、アナログ方式でもまちづくり情報を町民に伝えるため、『稲津まちづくり新聞』を年2回発行し全戸配布する。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	更新頻度が高く、楽しい写真がいっぱいのホームページを心がけ、ここ1年のアクセス件数は、1日100件を超えています。催し物以外にも、まちに関する身近な出来事などを取り上げながら、親しみやすい記事を作成しています。 ホームページ及びまちづくり新聞等で情報を伝えるため、今後もホームページの素早い更新、見やすい紙面の作成と、新鮮な情報の発信を続けます。